

タウンミーティング配付資料

第2次島田市総合計画について

～初倉地区～

平成29年9月29日（金）
初倉公民館 くらら



湯日の子供たちを見守る会 ～本屋さんごっこ～



SHIMADA
GREEN Ci-TEA
JAPAN

本日のタウンミーティングの目的

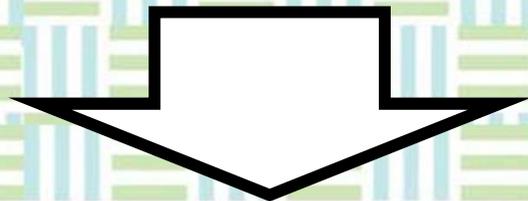
現在、策定を進めている第2次島田市総合計画・国土利用計画島田市計画の素案（島田市のめざすすがた）を説明し、地域の皆様の意見をいただきます。

お住まいの地域の課題や、市政や土地利用に対する皆様からいただいた御意見を、計画に盛り込んでいきます。

総合計画とは…①

●総合計画とは何か

都市の基本理念や将来像、その実現のための施策の方向性を示した市の最上位の計画。平成23年の法改正で策定の判断は各自治体に委ねられましたが、今でもほぼ全ての自治体で策定されています。



【島田市では…】

総合計画の策定等に関する条例を平成25年度に制定し、総合計画を引き続き策定するとともに、その際には議会の議決を得ることとしました。

総合計画とは…②

● 総合計画の構成

基本構想

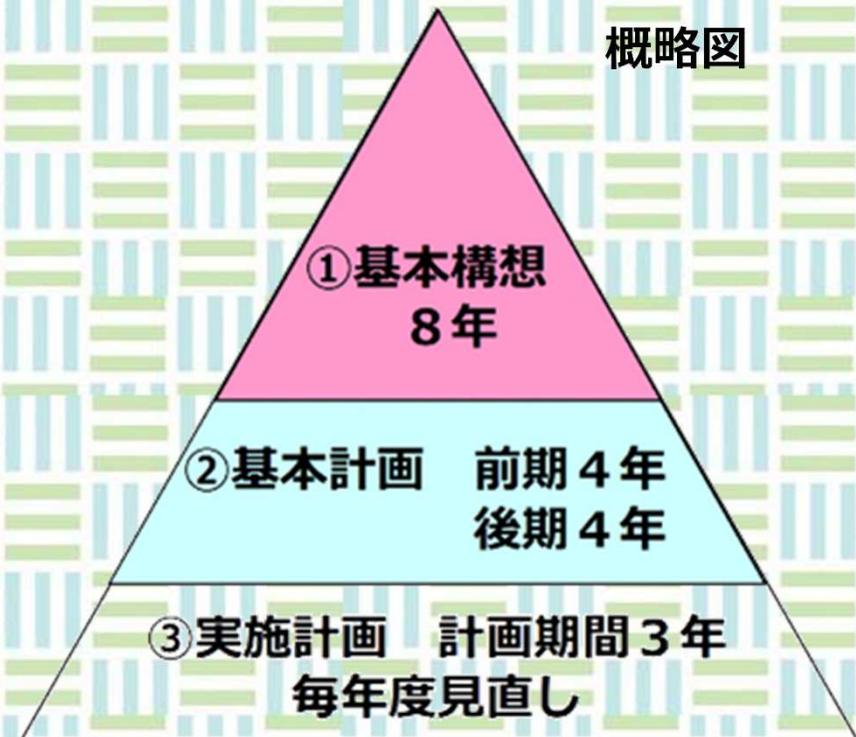
市の目標とする将来像及びこれを達成するための必要な政策分野

基本計画

基本構想に基づき、必要な施策を体系化し、個々の施策を計画的に進めていくための具体的な指針

実施計画

基本計画で明らかにされた個々の施策の実行性を確保する予算編成の具体的な指針



総合計画とは…③

● 総合計画の計画期間

(現) 島田市総合計画

項目	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29
基本構想	基本構想計画期間【目標年度：平成29年度】								
基本計画	基本計画【前期】				基本計画【後期】				
実施計画	*	*	*	*	*	*	*	*	*

*向こう3年間の主要施策の実施計画をローリング方式で実施

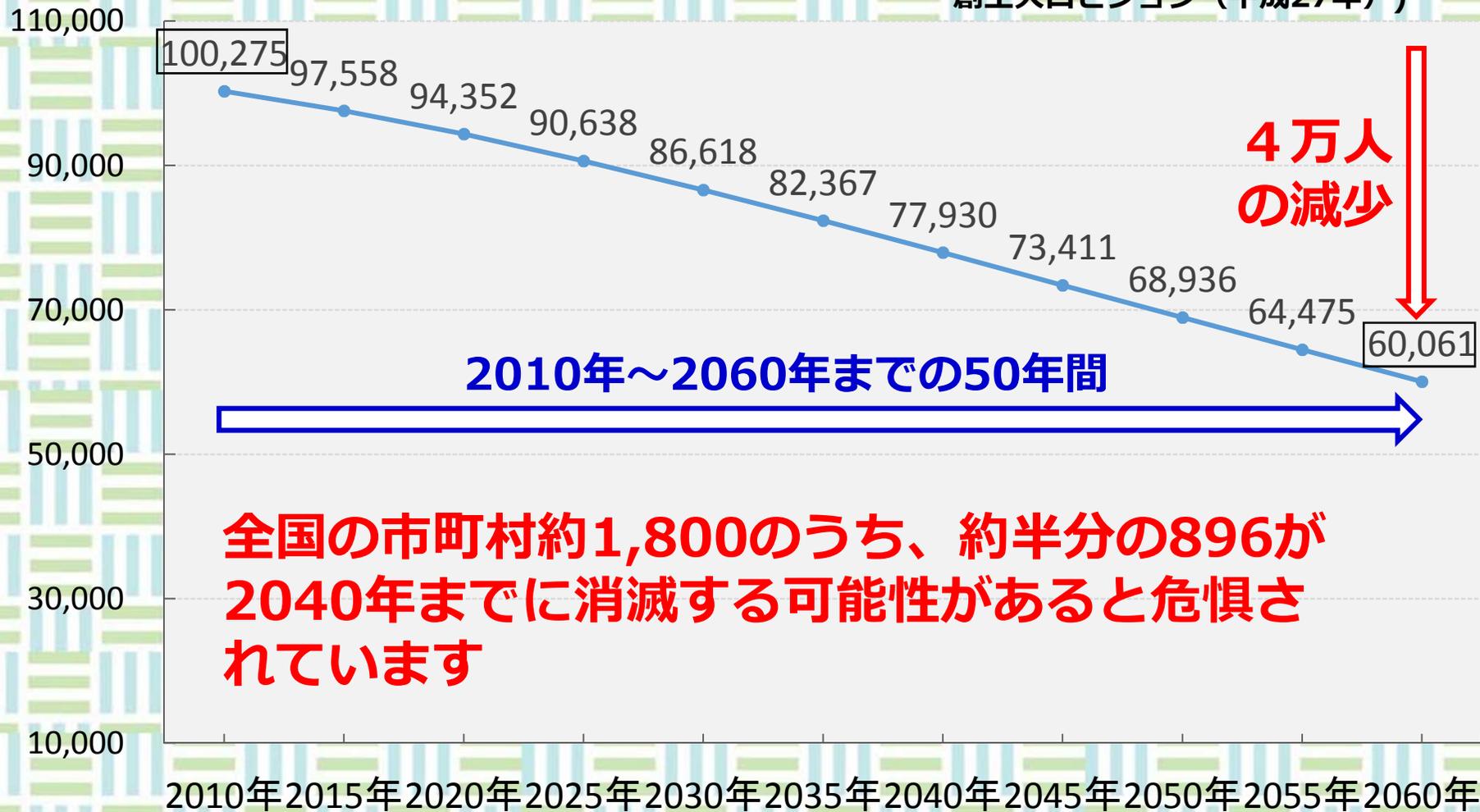
第2次島田市総合計画（現在策定作業中）

項目	H30	H31	H32	H33	H34	H35	H36	H37
基本構想	基本構想計画期間【目標年度：平成37年度】							
基本計画	基本計画【前期】				基本計画【後期】			
実施計画	*	*	*	*	*	*	*	*

押さえるべき課題①

島田市の人口の見込み

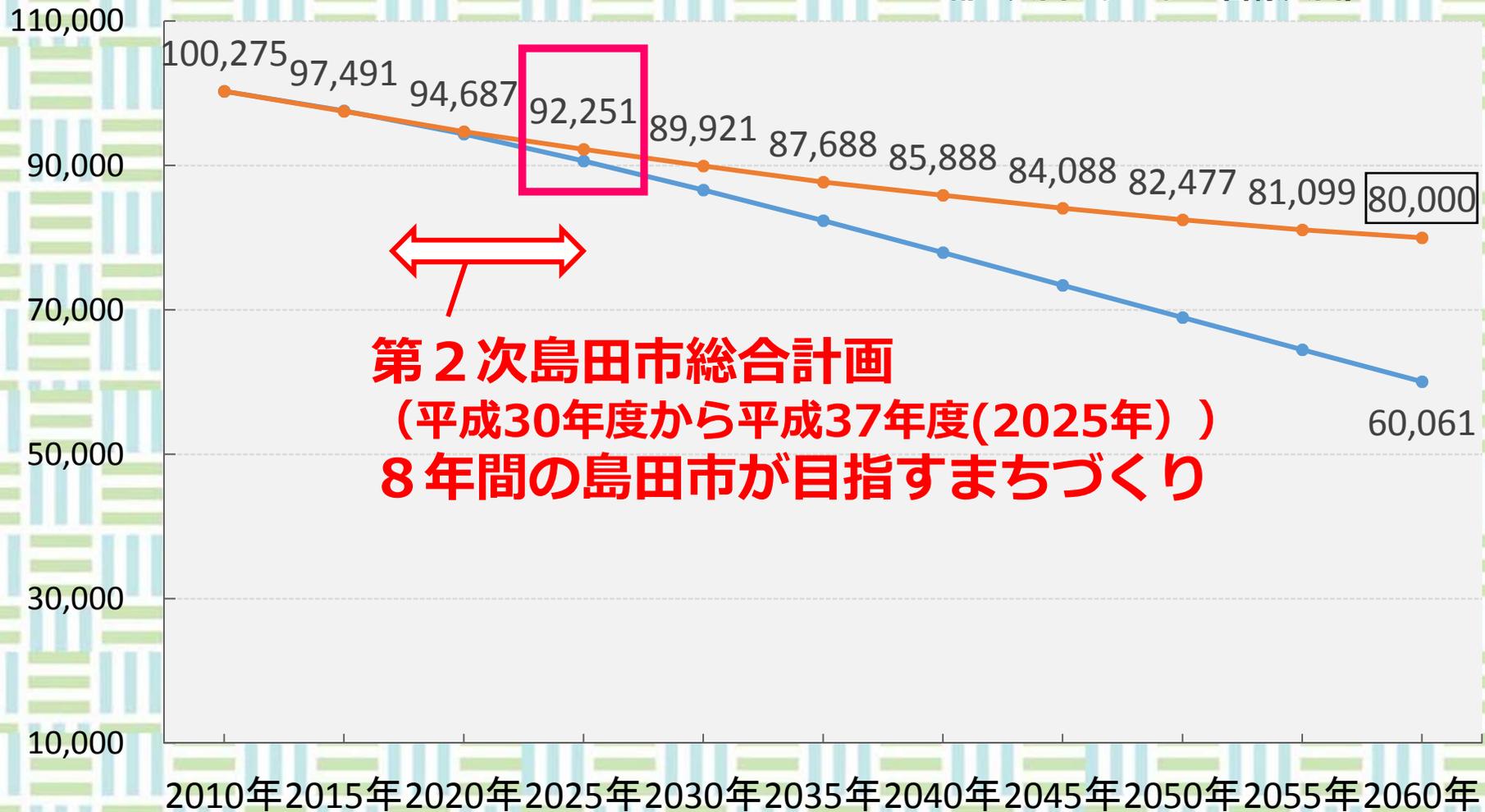
(出典：島田市まち・ひと・しごと
創生人口ビジョン(平成27年))



押さえるべき課題②

これからの人口目標

(島田市まち・ひと・しごと
創生人口ビジョン 目標人口)



第2次島田市総合計画

(平成30年度から平成37年度(2025年))

8年間の島田市が目指すまちづくり

これからのまちづくりに必要な視点

1. 人口減少・超高齢社会を克服する
(縮小社会に対応する)
2. 経済の好循環をつくりだす
(産業・観光で稼ぐ力を蓄える)
3. 市民の安全と安心を確保する
(想定外まで想定する)
4. 人と人、人と地域のつながりを大切にする
(人を育て、地域の絆を高める)
5. わかりやすい総合計画をつくる
(行政の透明性を確保する)



防災訓練 (放水)



陶芸教室

今後の行政のあるべき姿

右肩上がりの時代

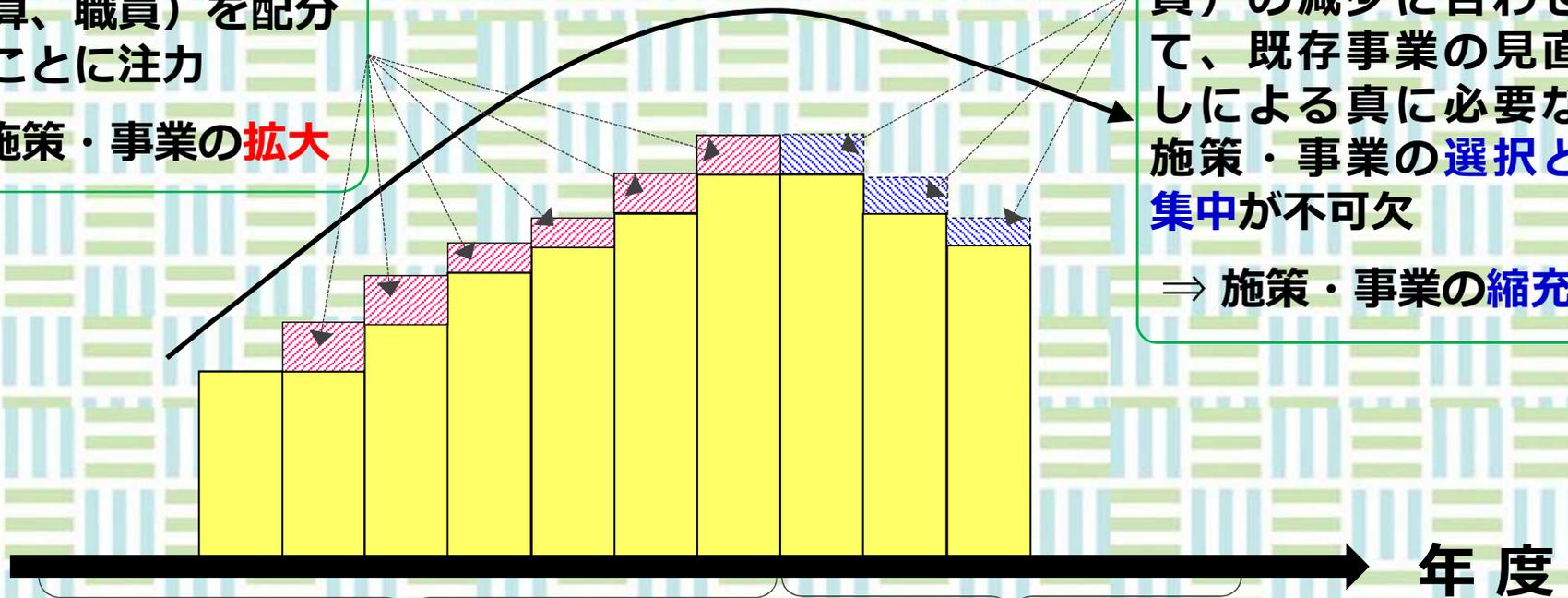
毎年増加する経営資源
(予算、職員)を配分
することに注力

⇒ 施策・事業の**拡大**

縮充の時代

経営資源(予算、職員)の減少に合わせて、既存事業の見直しによる真に必要な施策・事業の**選択と集中**が不可欠

⇒ 施策・事業の**縮充**



新規拡大する施策・事業を
中心に計画することに注力

新規拡大の施策・事業と、
廃止縮小の施策・事業を
一体で計画することが必要

行政サービスの拡大による**満足度の向上**

経営の視点に基づく**最適化**

第2次島田市総合計画に盛り込む考え

●まちづくりの方向（将来像）と政策分野

笑顔あふれる
安心のまち
島田

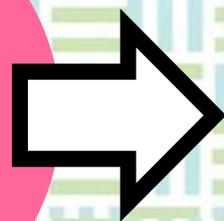
- ①安全ですこやかに暮らせるまちづくり
- ②子育て・教育環境が充実するまちづくり
- ③地域経済を力強くリードするまちづくり
- ④住みよい生活環境があり、自然とともに生きるまちづくり
- ⑤歴史・文化がかがやく、人が集まるまちづくり
- ⑥ひと・地域を支える都市基盤が充実するまちづくり
- ⑦まちづくりの土台となる行財政運営

分野ごとの取り組み（抜粋）

1 安全ですこやかに暮らせるまちづくり（防災・福祉・健康）

- ・ここに住むすべての人の安全な生活を守る
- ・健康で自分らしく暮らす
- ・生涯を通じて誰もが生きがいを持ち安心して暮らす
- ・弱い立場の人を支えあう

重点
施策



- ・新病院の建設
- ・同報無線のデジタル化の検討
- ・地域包括ケアシステムの構築
- ・居場所づくりの推進
- ・健幸マイレージの充実
- ・24時間訪問看護ステーションの機能拡充



市民病院計画

分野ごとの取り組み（抜粋）

2 子育て・教育環境が充実するまちづくり（子育て・教育）

- ・子どもを生き育てやすい環境をつくる
- ・地域ぐるみの教育環境をつくる
- ・豊かな心を育む教育を進める
- ・地域での学びの力を発揮する人材を育てる
- ・生涯スポーツを楽しむ人を増やす

プログラミング教室（ICT）



重点
施策

- ・ ICT教育の拡充
- ・ 教育支援員の充実配置
- ・ 待機児童ゼロの達成と継続
- ・ 保育料の第2子半額、第3子無償化
- ・ オリンピック・パラリンピックの合宿誘致
- ・ 田代の郷施設の整備推進 など

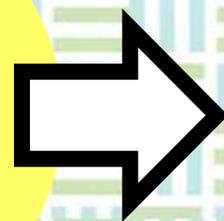
分野ごとの取り組み（抜粋）

3 地域経済を力強くリードするまちづくり（経済・産業）

- ・ 未来のための産業を創りだす
- ・ 世界に誇れる技術を持った中小企業を育てる
- ・ 商店街や個店を支援し、地域のにぎわいを生み出す
- ・ 地域の特徴を生かした農林業を進める
- ・ 人と地域の魅力を伝える観光施策を進める

パラグライダー

重点
施策



- ・ 中心市街地の活性化
- ・ ICTコンソーシアムの運営
- ・ 企業誘致・立地の促進
- ・ 茶業の振興と販売促進
- ・ 蓬莱橋周辺の整備
- ・ パラグライダーパークの整備

など



分野ごとの取り組み（抜粋）

4 住みよい生活環境があり、自然とともに生きるまちづくり（環境・自然）

- ・ 地球環境の保全に貢献する
- ・ みどり豊かな自然を守り育む
- ・ 水資源と水環境を守る
- ・ 住みよい生活環境をつくる



コミュニティバス

重点
施策

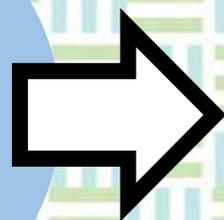
- ・ 自然エネルギーの活用
- ・ 低炭素社会の実現
- ・ 森林の保全
- ・ クリーンセンターの設備更新
- ・ 水資源の保全（リニア対応）
- ・ 公共交通の維持・確保 など

分野ごとの取り組み（抜粋）

5 歴史・文化がかがやく、人が集まるまちづくり（歴史・文化・地域）

- ・ 培われた歴史・文化で地域への理解と愛着を深める
- ・ 島田を知り、好きになってもらう
- ・ 人との連携・交流が生まれる地域をつくる

重点
施策



- ・ 諏訪原城跡の環境整備
- ・ 川越遺跡の施設整備
- ・ シティプロモーションの推進
- ・ 島田市緑茶化計画の推進
- ・ 移住・定住の促進 など



島田髷

分野ごとの取り組み（抜粋）

6 ひと・地域を支える都市基盤が充実するまちづくり（都市基盤）

- ・安全で快適な生活基盤を整える
- ・地域と地域の活発な交流を支える道をつくる
- ・便利で魅力あるまちの拠点をつくる



賑わい交流拠点計画

重点
施策

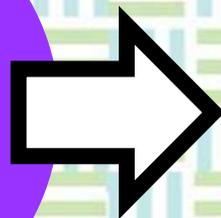
- ・新東名島田金谷 I C 周辺地区の開発
- ・空港周辺プロジェクト
- ・都市計画マスタープランの見直し
- ・向島町公園の整備 など

分野ごとの取り組み（抜粋）

7 まちづくりの土台となる行財政運営（行財政）

- ・ みんなの協力でまちをつくる
- ・ 安定的・継続的な市民目線の行財政運営を進める
- ・ 都市間連携による地域の活性化を進める
- ・ 効率的に公共施設を整える

重点
施策



- ・ 市役所周辺整備の検討
- ・ しずおか中部連携中枢都市圏の取組推進
- ・ 市民活動センターの運営 など



地域別まちづくりの方向性（初倉地区）

～地域づくりのテーマ～

緑と歴史が調和し、交流のある地区を目指して

地域づくりの方針

（土地利用に関する内容）

- ・自然・歴史・文化が息づき、安全で快適な暮らしを確保する土地利用

（地区のまちづくりのポイント）

- ・富士山静岡空港や東名高速道路など、広域交通拠点としての立地特性を活かした都市基盤の整備や企業立地を進める
- ・社会教育施設を中心とした生活や教育・文化の交流拠点づくりを進める
- ・幹線道路やそれにつながる生活道路の整備により、まちの安全・快適性を確保する



初倉放課後子ども教室「フレンズクラブ」

初倉地区で実施する事業（予定）

【防災・福祉・健康】

消防ポンプ車購入事業（湯日）

地域包括支援センター運営事業

【子育て・教育】

児童センター運営事業

（初倉児童センター）

放課後児童クラブ運営事業

教育環境適正化事業

小学校屋根改修事業（初倉小、初南小）

小・中学校便所改修事業（湯日小）

小学校防球ネット設置事業（初倉小）

南部学校給食センター施設設備更新事業

南部学校給食センター施設改修事業

【経済・産業】

茶園基盤整備事業 ※県事業

空港隣接地域賑わい空間創生農業振興事業

農業農村整備事業



はつくら寺子屋事業

初倉地区で実施する事業（予定）

【環境・自然】

- 一般廃棄物最終処分場返却のための覆土事業
- 住宅団地汚水処理場管理運営事業
- 不採算バス路線維持事業（補助金）

【都市基盤】

- 幹線道路改良事業（色尾大柳線・谷口中河線）
- 生活道路改良事業（中河南原線・吹木線 等）
- 河川改修事業（犬ヶ沢）
- 排水路改修事業（南原地内、犬ヶ沢第16排水区）
- 配水池耐震化事業（湯日）
- 地下水源施設耐震化事業（初倉浄水場 等）



谷口中河線

第2次総合計画 主要プロジェクト 新病院建設事業

【平成32年度開院予定 新病院の概要】

① 病院の規模

病床数	一般病床	405床	診療科	外来	30科
	回復期病床	40床		院内	33科

② 総事業費 241億円 市と病院で1/2ずつ折半

●スケジュール

- ・ H27 基本計画完了
- ・ H28 基本設計着手
- ・ H29 実施設計・工事着手
- ・ H32年度中 開院

地域医療に貢献する～次世代につなぐ新しい市民病院



新病院のエントランス イメージ図(出典元：新病院基本設計) 21

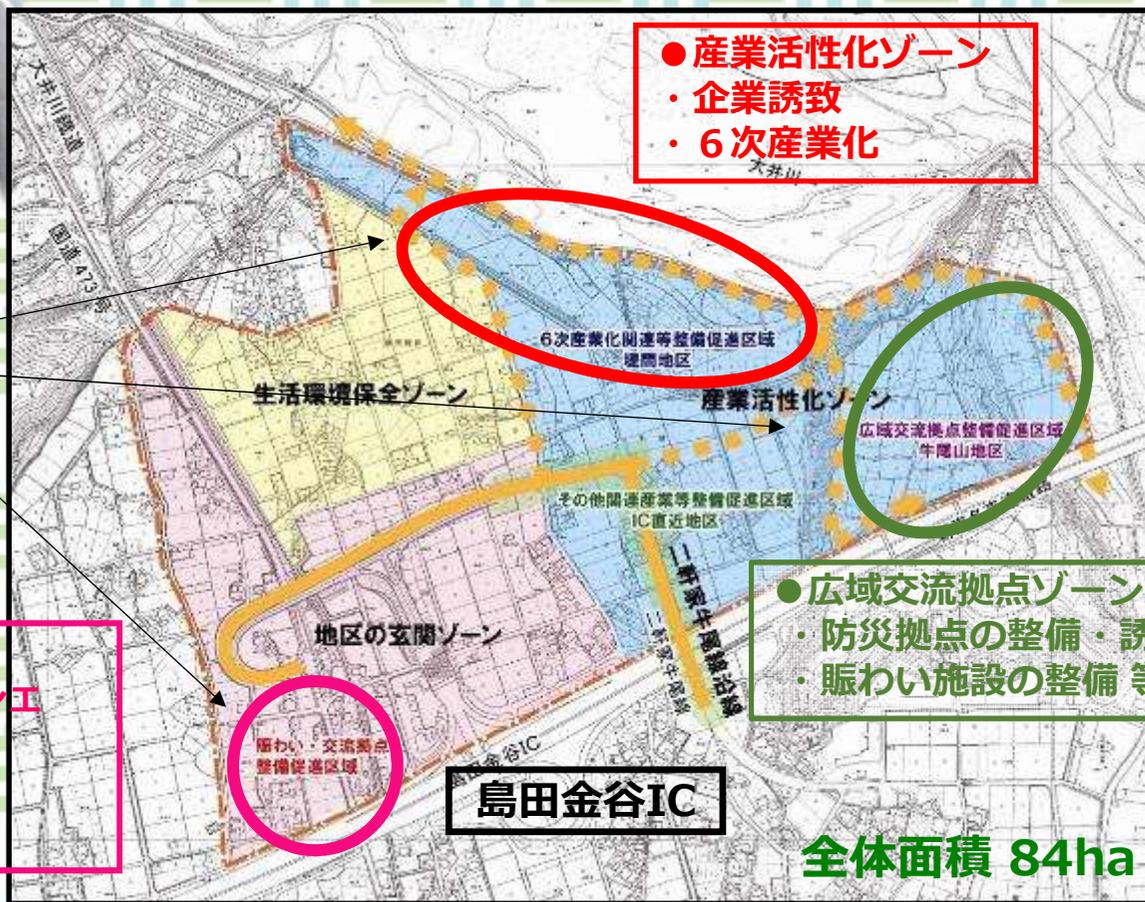
第2次総合計画 主要プロジェクト 島田金谷IC周辺整備事業

平成27年3月、地元の人を中心に組織された「新東名島田金谷IC周辺まちづくり協議会」がインター周辺のまちづくり（都市的土地利用）のコンセプトをまとめあげました。それに基づいて、現在、市は実現を目指して各種調整や基盤整備を進めています。



囲い3か所の整備促進を図る

- 賑わい交流拠点整備
- ・ 農林水産物を販売するマルシェ
- ・ レストラン
- ・ 大井川鉄道新駅設置
- ・ 無料駐車場



第2次総合計画 主要プロジェクト 空港周辺プロジェクト

観光・レクリエーションの拠点として、観光・交流機能の充実、美しい茶園と調和する自然とのふれあいの場を整備します。



- ・ 昨年12月、旧金谷中学校跡地利用に関して、市としての基本的な考え方や方向性を整理した基本計画を取りまとめました。
- ・ お茶の郷が昨年6月に県に移管され、お茶の都ミュージアムとして、平成30年春オープンします。



第2次総合計画 主要プロジェクト 市役所周辺整備事業



- 市役所本庁舎をはじめ、市民会館跡地、プラザおおるり、中央小公園、職員駐車場の計約34,000m²の整備を検討します

「国土利用計画島田市計画」

国土利用計画とは・・・

国土利用計画法に規定されている、
「公共の福祉を優先させ、自然環境の保全を図りつつ、地域の自然的、社会的、経済的、文化的条件に配慮して、健康で文化的な生活環境の確保と国土の均衡ある発展を図る」

という基本理念に基づき、国・都道府県・市町村がそれぞれの区域について定める国土の利用に関する基本的かつ総合的な長期計画

【島田市の土地利用に関する基本方向】

土地利用に関する概況

東西約23km、南北約31km、市域面積は315.70km²
北部は山地が多く、南部は大井川によって形成された扇状地及び牧之原台地からなる
市域の約6割が山林や田畑などの自然的土地利用

計画策定の背景

- 社会状況の変化による土地利用をめぐる状況の変化
- 効率的な土地利用の促進、土地需要の調整

土地利用の基本的な考え方

- 大規模災害に備えた安全な土地利用
- 活力あふれ持続的な成長を確保する土地利用
- 自然と共生し快適でうるおいある土地利用
- 地域の魅力や個性を活かした土地利用
- 市民や地域の主体的な参画

地区別土地利用方向（初倉地区）

「市街地ゾーン」、
「空港周辺ゾーン」
として位置付け



◎富士山静岡空港に隣接する地区の調和ある発展を図るため、生活道路、河川等の生活基盤整備事業や農道、排水路等の農業振興対策事業を進める。

◎里山景観が残る地区については、核となる学校や公会堂等の既存施設を活用し、年代を超えて地区内外の人と人の交流ができる拠点づくりを進める。

◎地区内幹線道路の整備を進めるほか、地区内生活道路の整備を併せて進める。

◎空港アクセス道路に位置付けられた南原ルート(県道吉田大東線)や市街地からの島田ルートの整備促進を静岡県に対して働きかけを行う。

◎幹線道路沿いの農地について、無秩序な転換を排除した上で、関係住民の理解や環境の保全等慎重な配慮の下、住宅や商業施設、福祉施設等の誘導に資する計画的かつ適正な土地利用を検討する。

◎突発的・局地的な豪雨に対応するため、犬ヶ沢水路や南原地区の排水路整備を実施する。

◎日本最大の茶産地である牧之原台地や高品質のレタスを栽培する平野部の農地保全や農地集積を進めるほか、経営体の法人化等による生産性の向上を目指します。